

肺癌化学療法時の吐き気に関する調査研究へのご協力のお願い

松山赤十字病院では、呼吸器疾患の原因究明やより良い治療を目指すために様々な研究を行っています。その一つに、実際に当院を受診された患者さんの診療録(カルテ)の医学情報を元に研究する方法があります。医学はこのような研究の積み重ねで成り立っており、今後の医学の発展のため是非ご協力をお願いいたします。

この研究は既に肺癌化学療法を受けられた患者さんの診療録から情報を抜粋し、特に吐き気に関する臨床事項を明らかにしようとするものです。

1. 対象

肺癌化学療法を入院中に行った方で、嘔気に関するアンケートに答えていただいた方の診療録を使います。

2. 方法

診療録の情報を、患者さんの個人情報(個人情報を削除して誰の情報か分からないようにすること)を行ってから解析します。具体的には嘔気に関するアンケート結果と患者さんの年齢・性別・行った抗がん剤などの関連を解析します。

3. 研究における倫理的配慮について

本研究は、過去の診療録の調査のみです。① 患者さんから採取した試料を用いること ② 新たな検査や治療 ③ 費用負担および謝礼 はありません。

研究結果を学会や学術論文で発表させていただく事はありますが、その際も個人の特定可能な情報はすべて削除されます。

研究に御協力いただけない場合でも診療上の不利益を受ける事はありません。

もし、これまでに肺癌で入院され、本研究にご承認いただけない方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

連絡先:松山赤十字病院 呼吸器内科 兼松貴則
089-924-1111(代表)